

爪水虫の治療法

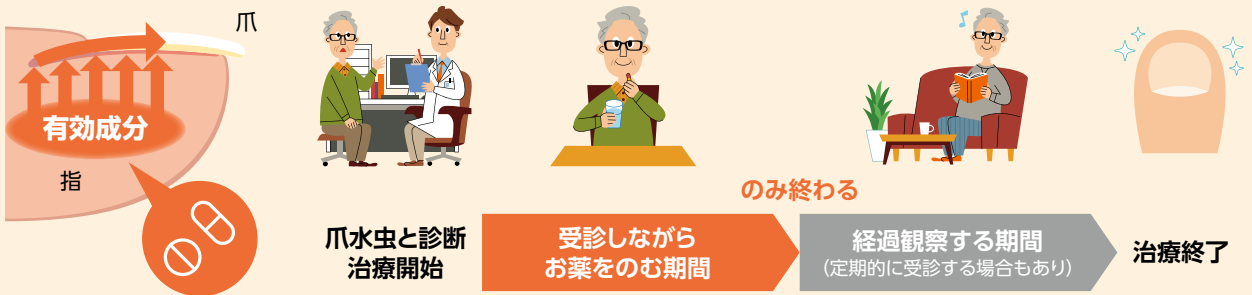
爪水虫検査
陽性

薬の有効成分によって健康になった爪が、白癬菌に感染した爪を先端の方に押し出すことで治っていきます。爪水虫の治療薬には「のみ薬」と「ぬり薬」があります。爪水虫の治療に関する「皮膚真菌症診療ガイドライン」では、「のみ薬」がより推奨されています¹⁾。

1) 望月 隆ほか. 日皮会誌 2019; 129(13). 2639-2673

のみ薬

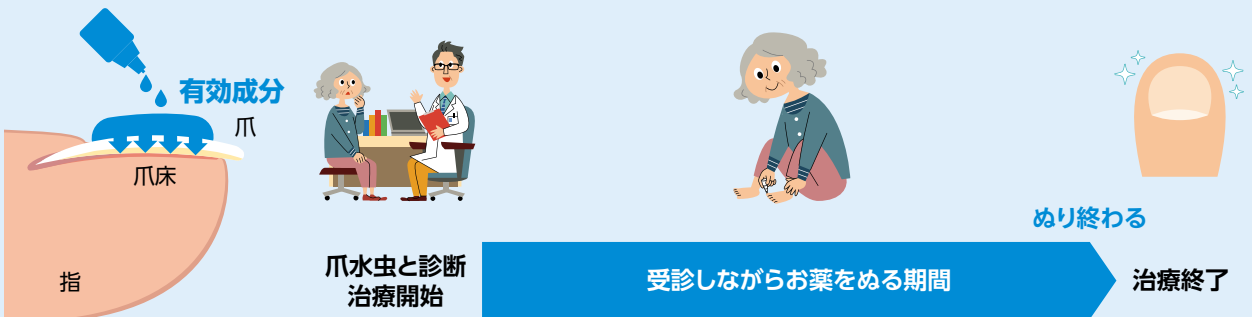
お薬を飲むと、有効成分が血液により爪まで運ばれて、皮膚や爪の内側から効果を発揮します。



- ガイドラインでは、「のみ薬」の推奨度はA(行うよう強く勧める)とされています。
- 「のみ薬」は一定期間(約3か月から6か月)服用し、その後経過観察になります
- 副作用予防のため、服用期間中は、1回もしくは複数回の血液検査が必要な場合があります。

ぬり薬

爪の表面にぬることで、有効成分が白癬菌のいる爪の中や爪床(爪の裏に接している皮膚)まで浸透し、効果を発揮します。



- ガイドラインでは、「ぬり薬」の推奨度はB(行うよう勧める)とされています。
- 「ぬり薬」は爪の生え変わるまでの期間、毎日ぬり続けることが一般的です。
- 薬液が付着した皮膚はかぶれる可能性があります。

監修：順天堂大学医学部附属順天堂医院 足の疾患センター

センター長 田中 里佳 先生 (医師・形成外科)
副センター長 小川 尊資 先生 (医師・皮膚科)
副センター長 橘 優子 先生 (看護師・フットケア指導士)

爪水虫を詳しく知りたい方は
こちらをチェック! >>





爪水虫検査
陰性

爪水虫以外の 疾患の可能性があります

爪水虫と見た目が似ている疾患もあります。病気ごとに治療方法が異なるため、きちんと検査して、適切な診断・治療を受ける必要があります。

爪乾癬



爪扁平苔癬



厚硬爪甲



写真提供：順天堂大学医学部附属順天堂医院 小川 尊資 先生

爪水虫に類似した疾患を詳しく知りたい方は
こちらをチェック!



爪水虫の治療を受けるにあたって あなたの気になることを教えてください



当てはまる項目にチェックをしてください。

- できるだけ早く治したい
- 薬でかぶれた経験がある
- 視力が悪く、足先がぼやけて見えてしまう
- 足以外にもかゆいところや気になる場所がある
- 足に手が届きにくい
- 歩行時に爪に痛みがある
- 転倒の心配がある、もしくは最近転倒したことがある